

国際クルーズ運航に向けた現状について

令和4年11月16日
国土交通省 港湾局

国際クルーズの受入を再開します

～国際クルーズ運航のためのガイドラインが策定されました～

我が国では、2020年3月以降、国際クルーズの運航が停止しておりましたが、この度、関係業界団体によるガイドラインが策定・公表され、日本における国際クルーズの受入再開に向けた準備が整いましたので、お知らせいたします。

本年9月26日に、政府の新たな水際対策の緩和措置として、「現在、国際線を受入れていない空港・海港について、今後の就航予定に応じ、地方公共団体等の協力を得つつ、個別港ごとに受入に係る準備を進め、これが整い次第、順次、国際線の受入を再開する」ことが発表されました。

これを受け、外国クルーズ船社の業界団体である日本国際クルーズ協議会が「国際クルーズ運航のための感染拡大予防ガイドライン(第1版)」を作成し、また、本邦クルーズ船社の業界団体である日本外航客船協会が国際クルーズに対応した「外航クルーズ船事業者の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン(第8版)」を、日本港湾協会が国際クルーズに対応した「クルーズ船が寄港する旅客ターミナル等における感染拡大予防ガイドライン(第8版)」をそれぞれ改訂しました。

国土交通省では、これらのガイドラインの内容について、感染症や危機管理等の専門家の方々からご意見を頂くとともに、関係省庁と確認いたしました。本日(11/15)、各団体よりガイドラインが公表され、日本における国際クルーズの受入を再開することとなりましたのでお知らせいたします。

今後は、各クルーズ船社が、寄港を予定している港の関係者と受入れに関する協議を行い、合意を得た上で、順次運航を再開することとなります。

国際クルーズ運航に関するガイドライン

- 国土交通省において、感染症や危機管理の専門家等の意見を聞きながら、関係業界団体が作成したクルーズ船及び受入港の感染症対策に関するガイドラインを監修。
- 今後、クルーズ船社が、寄港予定の港の関係者と受入に関する協議を行い、合意を得た上で、順次運航再開を予定。

「国際クルーズ運航のための感染拡大予防ガイドライン」

(日本国際クルーズ協議会(JICC)) ※2022年11月15日第1版

- ワクチン接種：
 - ・全乗組員の3回接種及び乗客の95%以上が2回接種の1次予防接種(ブースター接種を強く推奨等)
- 乗船前検査とスクリーニング：
 - ・乗船前3日以内PCRまたは抗原定性陰性(自己検査も可)の結果を提示等
- 船内での感染予防対策：
 - ・客室、レストラン、劇場等での感染予防対策(マスク、消毒、換気等)
- 船内での衛生管理：
 - ・各運航会社がプロトコル(新型コロナウイルス感染症対応計画)を整備等
- 乗組員の対応：
 - ・プロトコルに基づき感染防止策に関する教育・訓練を実施等
- 有症者及び濃厚接触者発生時の対応：
 - ・有症者を検査し、陽性であれば濃厚接触者とともに隔離を実施
 - ・全ての乗客・乗員の健康状態を確認し、検疫所に送付・報告
 - ・船内での感染拡大防止が可能であると船医が判断する場合は、船内隔離を継続等
- 運航警戒基準：
 - ・過去7日間の感染者の累計割合に基づき運航警戒レベル(Tier1-3)を設定し、レベルに応じた対応を実施
 - ・10%以上となるTier3で、運航を短縮
 - ・運航警戒レベルに拘わらず、新型コロナウイルス感染症の症例が、医療資源を逼迫する可能性がある場合などは、運航短縮を検討等

「外航クルーズ船事業者の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」

(日本外航客船協会) ※2022年11月15日第八版

- 乗船前検査とスクリーニング
- 船内での感染予防対策
- 船内の衛生管理
- 乗組員の対応
- 有症者及び濃厚接触者発生時の対応
- 運航基準

「クルーズ船が寄港する旅客ターミナル等における感染拡大予防ガイドライン」

(日本港湾協会) ※2022年11月15日第八版

- 旅客ターミナル等全般の感染防止
- ターミナルビルの従業員の感染防止
- 乗船時の感染防止
- 下船・一時上陸時の感染防止 等

寄港地における受入体制の構築・クルーズ船の寄港検討

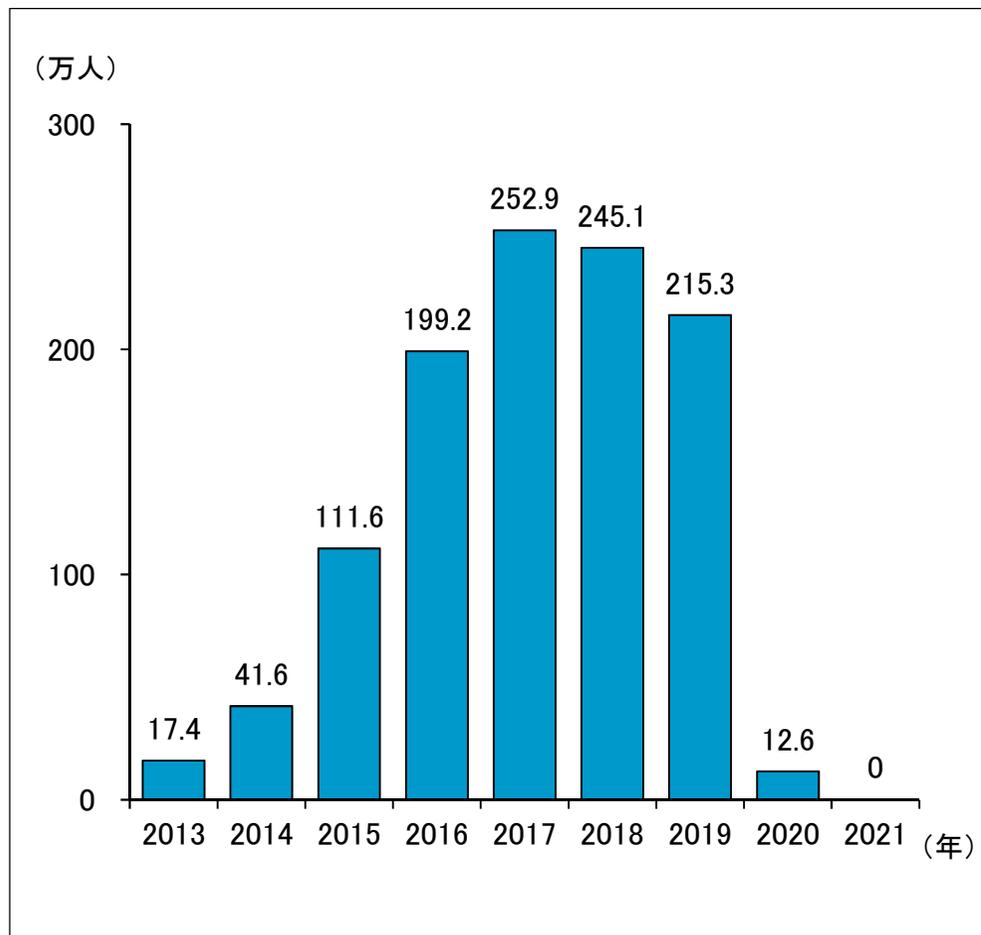
合意

国際クルーズ
再開

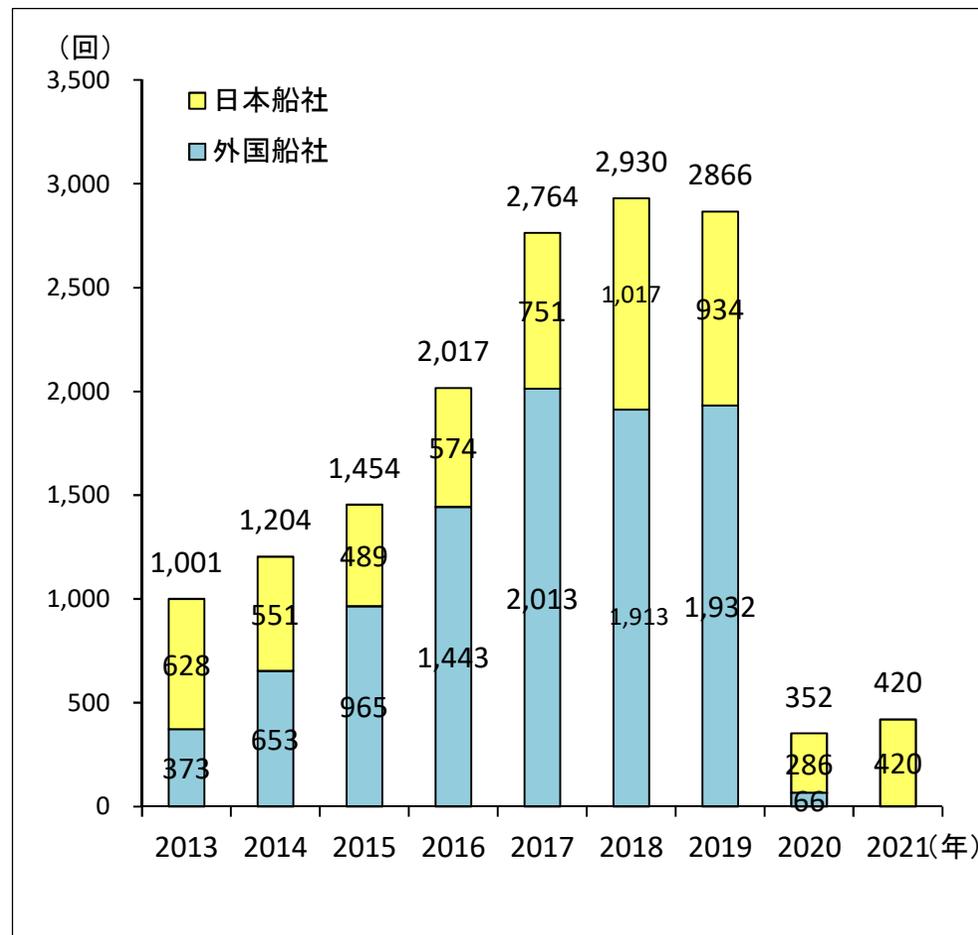
我が国のクルーズ船寄港に関する状況

○2021年の訪日クルーズ旅客数は前年比**皆減**のゼロ、我が国港湾への寄港回数は前年比**19.3%増**の420回（全て日本船社による国内クルーズ）となった。

訪日クルーズ旅客数



クルーズ船寄港回数

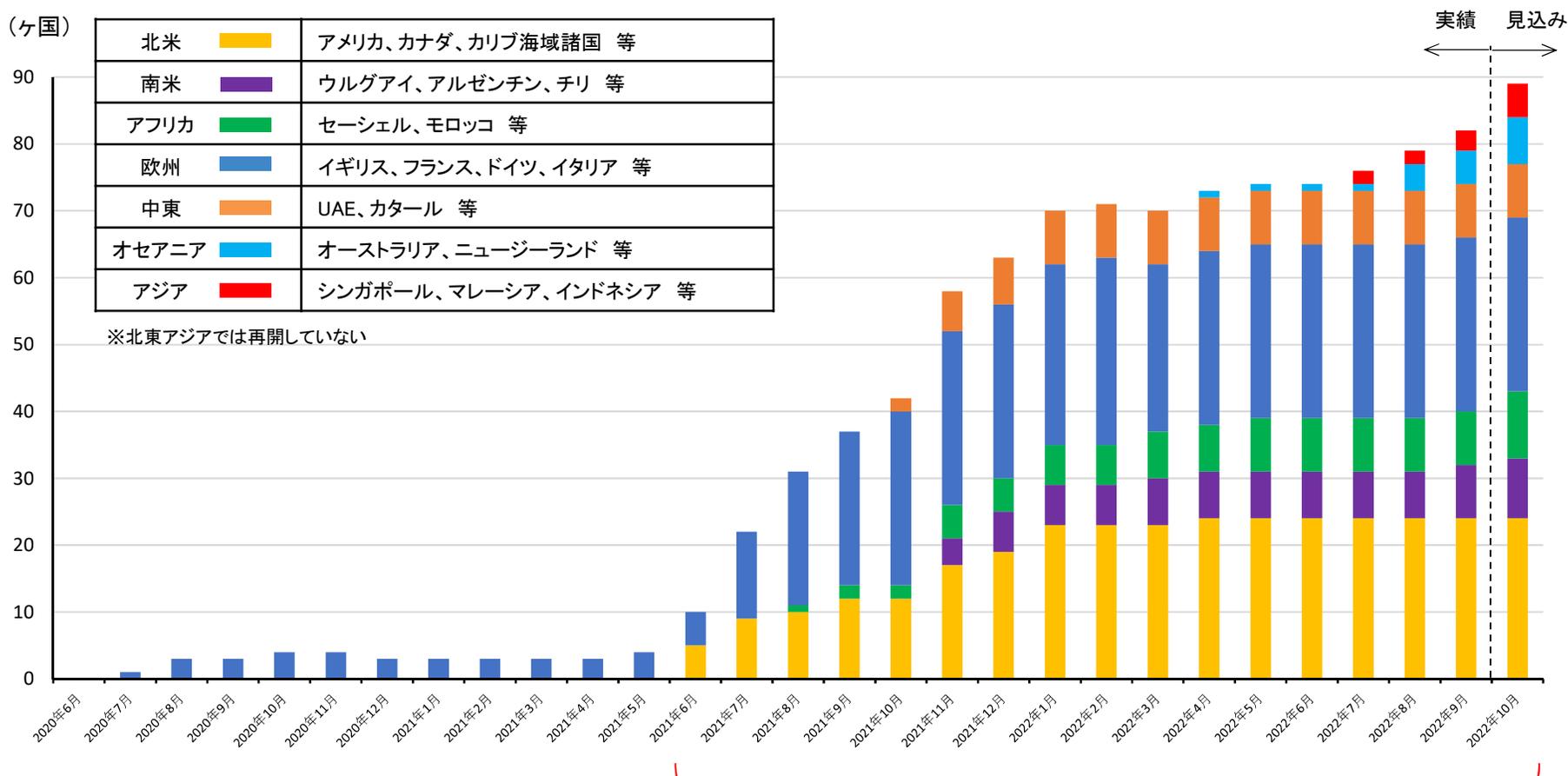


注1) 出入国在留管理庁の集計による外国人入国者数で概数(乗員除く)。
 注2) 1回のクルーズで複数の港に寄港するクルーズ船の外国人旅客についても、(各港で重複して計上するのではなく)1人の入国として計上している。

世界のクルーズ船の運航再開状況(国際クルーズ)

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、世界中でクルーズ船の運航休止を余儀なくされた。
- 国際クルーズについては、2020年7月から欧州において徐々に運航が再開され、2021年6月頃から、欧州やアメリカ等で運航再開が活発化してきている。一方、北東アジアにおいては未再開。

国際クルーズ再開国数



外航クルーズ船寄港による地域への経済効果

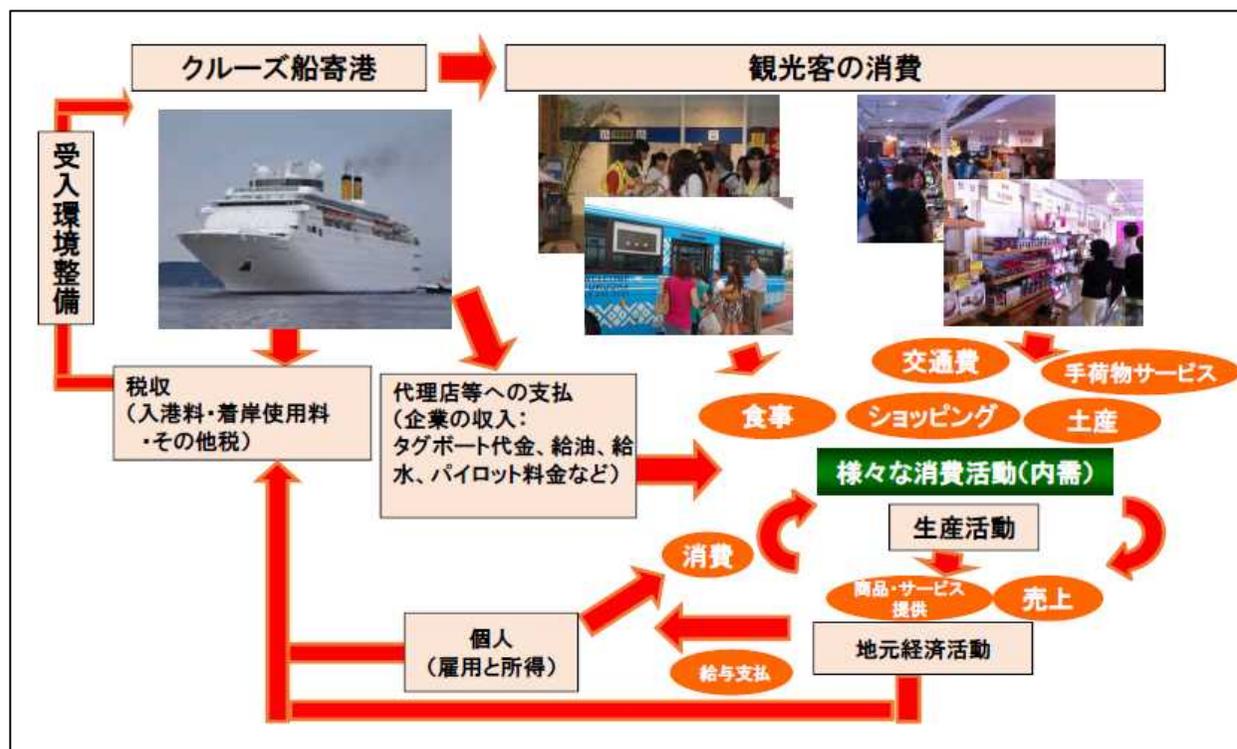
- コロナ禍前の外航クルーズ船寄港による経済効果は、訪日旅行消費だけでも年間約800億円。
- 外国船による日本周遊クルーズは、大都市圏のみならず地方部での経済効果も大きい。
- 日本で外国船の運航再開の見通しが立たない状況が続けば、外国船がアジア配船を欧米へ見直す懸念。
- クルーズ寄港を期待する全国の港湾管理者から、国際クルーズ早期再開の要望が数多く出ている。

訪日クルーズ客の旅行消費額

(7) クルーズ客の旅行中支出

- クルーズ客の旅行中支出は1人当たり平均39,710円であった(図表2-10)。
- 費目別にみると、「買物代」が1人当たり平均37,899円、「飲食費」が同1,258円などとなっている(図表2-11)。
- クルーズ客の旅行消費額は805億円と推計される。費目別では、「買物代」が768億円、「飲食費」が25億円などとなっている(図表2-12)。

クルーズ船寄港による地域への経済効果



出典: 訪日外国人の消費動向 2019年報告書(観光庁)

出典: 国交省港湾局資料

国際クルーズ運航再開に係る寄港地自治体の要望

全国クルーズ活性化会議※ 国への要望書(抄)(令和4年9月9日)

1 感染症対策及び国際クルーズ早期再開に対する支援(国土交通省)

国内クルーズについては、再開以降数万人の旅客輸送実績が蓄積されており、各港湾においても感染防止対策を適切に実施したクルーズ船の受入について習熟が図られているところ、地域経済や観光産業の回復に大きく貢献することが期待される国際クルーズについても早期に再開されることを要望する。

※全国レベルでクルーズ振興や誘致に係る必要な情報の共有や意見交換を行うとともに、各地域に共通する課題の解決を図ることにより、港を通じた地域振興や経済の活性化等に資することを目的として2012年に設立。全国144の港湾管理者や地方自治体の首長で構成(2022年9月現在)

個別自治体等からの主な要望

(令和4年9月26日の「水際措置の見直し」公表以降、首長が来訪し、要望が行われたもの)

○佐世保市要望(令和4年9月29日)

・外国船籍を含む国際クルーズ運航の早期再開に向けた水際対策の緩和

○福井県要望(令和4年10月3日)

・外国籍船を含む国際クルーズ運航の再開に向け、国際クルーズに対応するガイドラインを早期に整備すること

○石垣市等要望【官房長官宛】(令和4年10月5日)

・外国籍船による日本での国際クルーズの早期再開・運航が可能となるよう、運航する船社が受け入れることのできる形での水際対策の緩和

○全国港湾知事会要望(鳥取県・長崎県)(令和4年10月18日)

・国際クルーズの早期再開/国際クルーズ再開に向けた、感染拡大防止と社会経済活動を両立すること

○静岡市要望(令和4年10月27日)

・国際クルーズの早期再開に向けた水際対策の緩和と船舶・港湾ガイドラインの策定への配慮

○広島県要望(令和4年11月9日)

・新型コロナウイルス感染症に関する新たな水際対策措置に合わせ、外国船によるクルーズの早期再開に向けた諸規定やガイドライン、運用ルール等の整理をお願いする。

○八代市要望(令和4年11月15日)

・外国籍クルーズ船社による早期運航再開の実現に向けた支援

【参考】2023年3月以降のクルーズ予定一覧

○2023年においては、3月以降(3/1~12/6)、166本のクルーズ船の運航が予定されている。

定員(乗客+乗組員)3,000人以上のクルーズ船(運航本数:71本)

〈プリンセス・クルーズ〉 運航本数:32本

・ダイヤモンド・プリンセス(総トン数115,906トン・定員3,806人)
【例】3/15-3/24 横浜~別府~鹿児島~**済州**~博多~長崎~油津~横浜

〈キューナード・ライン〉 運航本数6本

・クイーン・エリザベス(総トン数90,901トン・定員3,061人)
【例】4/19-4/28 横浜~八代~博多~**釜山**~金沢~秋田~横浜

〈TUIクルーズ〉 運航本数:2本

・メイン・シフ5(総トン数98,785トン・定員3,534人)
【例】3/29-4/12 **香港**~上海~**釜山**~鹿児島~**基隆**~香港

〈カーニバル・クルーズ・ライン〉 運航本数:1本

・カーニバル・ルミノザ(総トン数92,720トン・定員3,310人)
【例】9/14-10/15 **アメリカ**~釧路~青森~東京~広島~長崎
~**東南アジア**~**アメリカ**

〈セレブリティ・クルーズ〉 運航本数:6本

・セレブリティ・ミレニアム(総トン数91,011トン・定員3,242人)
【例】9/30-10/12 横浜~清水~神戸~大阪~高知~**釜山**
~函館~青森~横浜

〈MSCクルーズ〉 運航本数:22本

・MSCベリッシマ(総トン数171,598トン・定員6,013人)
・MSCボエジア(総トン数92,627トン・定員3,537人)
【例】4/25-5/7 横浜~鹿児島~那覇~石垣~**基隆**~横浜

〈ロイヤル・カルピアン・インターナショナル〉 運航本数:2本

・スペクトラム・オブ・ザ・シーズ(総トン数169,379トン・定員5,797人)
【例】8/12-8/24 横浜~清水~神戸~鹿児島~**フィリピン**
~**ベトナム**~**シンガポール**

定員(乗客+乗組員)1,000人以上3,000人未満のクルーズ船(運航本数:56本)

〈ホーランド・アメリカ・ライン〉 運航本数:8本

・ウエステルダム(総トン数82,862トン・定員2,776人)
【例】3/13-3/27 横浜~清水~神戸~徳島~高知~広島~敦賀~境港
~**釜山**~**済州**~鹿児島~横浜

〈シルバークエスト・クルーズ〉 運航本数:17本

・シルバークエスト(総トン数40,791トン・定員1,007人)
・シルバークエスト・ウィスパー(総トン数28,258トン・定員690人)
【例】3/15-3/29 大阪~鹿児島~長崎~**釜山**~金沢~新潟
~秋田~青森~函館~横浜~大阪

〈バイキング・オーシャン・クルーズ〉 運航本数:4本

・バイキング・オリオン(総トン数47,861トン・定員1,475人)
【例】4/29-5/20 東京~小樽~**アメリカ**~**カナダ**

〈オーシャン・クルーズ〉 運航本数:9本

・ノーティカ(総トン数30,277トン・定員1,084人)
・イグニシア(総トン数30,277トン・定員1,084人)
・シガッタ(総トン数30,277トン・定員1,084人)
【例】3/23-4/2 横浜~名古屋~神戸~広島~**釜山**~長崎~細島
~高知~清水~横浜

〈リジェント・セブンシーズ・クルーズ〉 運航本数10本

・セブンシーズ・エクスプローラー(総トン数55,254トン・定員1,299人)
【例】3/14-3/28 東京~名古屋~神戸~別府~**釜山**~**済州**~長崎
~名瀬~那覇~高知~清水~横浜

〈アザマラ・クルーズ〉 運航本数:4本

・アザマラ・クエスト(総トン数30,277トン・定員1,110人)
【例】3/19-4/2 東京~青森~秋田~新潟~金沢~境港~**釜山**
~北九州~広島~高松~神戸~清水~東京

〈ピース・ボート〉 運航本数:3本

・パシフィック・ワールド(総トン数77,441トン・定員2,934人)
【例】4/7-7/24 横浜~神戸~**ワールド**~横浜~神戸

〈フレッド・オルセン〉 運航本数:1本

・ボレアリス(総トン数61,849トン・定員2,022人)
【例】2/21-5/13 **ワールド**~博多(3/30)~神戸~名古屋~横浜~**ワールド**

定員(乗客+乗組員)1,000人未満のクルーズ船(運航本数:39本)

〈ボナン〉 運航本数:9本

・ル・ソレアル(総トン数10,992トン・定員409人)
【例】3/31-4/10 大阪~高松~広島~宇和島~唐津~**蔚山**~境港
~金沢~佐渡島~小樽

〈ノバグロイド・クルーズ〉 運航本数:7本

・オイローパ2(総トン数42,830トン・定員870人)
・ハンセンティック・ネイチャー(総トン数15,651トン・定員400人)
【例】3/27-4/12 東京~神戸~広島~別府~博多~**釜山**~**仁川**
~**基隆**~香港

〈ウインドスター・クルーズ〉 運航本数:9本

・スター・ブリーズ(総トン数12,969トン・定員502人)
【例】5/6-5/16 東京~清水~新宮~唐津~**釜山**~長崎~北九州
~広島~高松~神戸

〈スワン・ヘレニック〉 運航本数:3本

・SHミネルバ(総トン数10,617トン・定員272人)
【例】5/19-5/30 神戸~宇野~広島~北九州~境港~**釜山**~長崎
~鹿児島~屋久島~宇和島~高松~神戸

〈コーラル・エクスペディションズ〉 運航本数:3本

・コーラル・アドベンチャー(総トン数5,536トン・定員150人)
【例】9/23-10/7 東京~清水~新宮~大阪~徳島~小豆島~広島~松山
~唐津~対馬~**済州**~佐世保~青方~福江~博多

〈ヘリテージ・エクスペディションズ〉 運航本数:4本

・ヘリテージ・アドベンチャー(総トン数8,445トン・定員260人)
【例】5/20-6/1 金沢~松江~萩~**蔚山**~隠岐島~新潟~能代~室蘭
~釧路~網走~利尻島~小樽

〈リンドブラッド・エクスペディションズ〉 運航本数:3本

・ナショナル・ジオグラフィック・レゾリューション
(総トン数12,786トン・定員238人)
【例】8/24-9/4 神戸~宇野~高松~宮古島~屋久島~鹿児島
~長崎~**蔚山**~秋~松江~金沢~新潟

〈フェニックス・ライゼン〉 運航本数:1本

・アマデア(総トン数29,008トン・定員915人)
【例】12/20-5/22 **ワールド**~清水(3/1)~名古屋~大阪~広島~金沢~新潟
~**東草**~**釜山**~**済州**~長崎~鹿児島~那覇~**ワールド**